

「チームで取り組む歯周組織再生療法  
— EFPガイドライン2020から見た  
DHとDrの役割 —」

日時

令和7年12月14日（日）  
10：00～12：00

（質疑応答含む）



講師 はばたき歯科おとな子ども歯科クリニック  
鈴木 隆太郎 先生

方 法	[会場]	四日市歯科医師会館 3階 大会議室 (三重県四日市市本町9番12号)
	[WEB]	ZOOMミーティング
対 象	歯科医師、歯科衛生士等	
参加費	三重県歯科衛生士会会員 無料 他県会員 3,000 円 会員外 5,000 円 三重県内養成学校卒業後1年目 無料	
申込み	下記URLまたは二次元コードからお申込みください <a href="https://forms.gle/JkfMX1HwvmeQ1erx6">https://forms.gle/JkfMX1HwvmeQ1erx6</a>	
申込締切	12月1日(月) 定員になり次第締め切りとさせていただきます。	



悪天候等により、やむなく中止となる場合は、前日の16時までに三重県歯科衛生士会ホームページに掲載いたします。

〔お問合せ先〕 特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会事務局

TEL: 059-223-0815 メール: mie-dh@infoseek.jp

近年、歯周治療の標準化と科学的根拠の共有が国際的に求められており、EFP(ヨーロッパ歯周病学会)ガイドライン2020はその方向性を示す重要な指針となっています。本講演では、EFPガイドラインの構成と主要な推奨事項を整理し、日常臨床の流れにおいてどのように活かすことができるかを、歯科医師と歯科衛生士それぞれの視点から解説します。特に、ガイドラインの中で強調される「ステップ治療」の考え方を通じて、非外科的歯周治療から外科的治療、そして歯周組織再生療法へと続く流れの中で、歯科衛生士が果たす役割の重要性を共有します。再生療法の具体例として、FGF-2（リグロス®）を取り上げ、術前・術後管理や患者教育におけるチームの関わり方を紹介します。本講演の目的は、クリニック毎の歯周組織再生療法の実施有無にかかわらず、全ての歯科チームがガイドラインに基づいた共通の理解を持ち、日々の臨床をより質の高いものへと発展させるきっかけを提供することです。科学的根拠とチームワークの力によって、より良い歯周治療を実現する道を共に考えていきます。



## 経歴

福岡県立九州歯科大学歯学部歯学科卒業

愛知医科大学病院歯科口腔外科にて卒後臨床研修修了

同院にて医科麻酔科・救急救命科・形成外科研修修了

三重県内の歯周病・インプラント専門医院にて勤務

愛知県内のこども矯正専門医院にて勤務

その他複数の医院にて診療に従事

2024.5 はばたき歯科おとなこども歯科クリニック開院

日本臨床歯周病学会 認定医

日本小児口腔発達学会 認定口腔機能支援士

日本口育協会 認定口育士

日本糖尿病協会 認定登録歯科医師

日本歯周病学会 会員 日本口腔インプラント学会 会員

Study Session on Stream (SSS) 主宰

Tokai Next Generation 理事

Next Generation Dentist Salon 東海地区代表

AMT Dental Place 公式講師

